

整理番号	27	作成日	平成 18 年 6 月 20 日
事業名	HIV検査・相談		
所属名	健康部 保健予防課 感染症第一係	電話番号	(03) 5661-2475 (直通)

事業の目的・概要・対象者等	<p>《事業の目的及び概要》</p> <p>性感染症は正しい知識とそれに基づく個人の注意深い行動により予防することが可能であり、早期発見・早期治療により治癒または重症化の防止が可能な疾患です。特に近年若年層における性感染症発生の増加が報告されています。</p> <p>検査を受けやすい環境づくりの1つとして平成16年度から、HIV即日抗体検査を導入しました。</p> <p>検査内容はHIV抗体検査及び性器クラミジア抗体検査を血液検査にて実施しており、検査結果が陽性であった方には、医療機関での早期治療に結びつける契機となります。</p> <p>また性感染症予防の健康教育や保健指導を同時に実施することにより、感染拡大抑制のため、普及啓発を推進しています。</p>	<p>《事業の開始年度》 平成4年度</p>
	<p>対象者</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">一般区民</div> <p>全ての検査希望者 《匿名・無料にて検査実施しているため不特定》 (後天性免疫不全症候群に関する特定感染症予防指針)</p>	

活動指標	<p>活動指標</p> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; display: inline-block;">受検者数</div>	<p>HIV検査は、月2回(年間23回)実施。 即日検査:検査後1時間程度で結果判定が出ます。 検査希望者全員に保健師及び医師による個別相談を実施し、検査内容の説明等を行い、不安解消、予防教育・啓発活動を行っています。</p>
	<p>17年度</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid green; padding: 2px 5px;">1,392人</div> <div style="margin-left: 20px;">(16年度)</div> <div style="margin-left: 20px;">1,595人</div> </div>	

成果・目標指標	<p>成果・目標指標</p> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; display: inline-block;">初回受検者数の割合</div>	<p>初めて検査を受ける方の割合。 検査時に、予防行動等について情報提供を行い、感染リスクの高い行動を気づかせ行動変容を促し、繰り返し受検する人を減らすことで事業の効果を図ります。</p>
	<p>17年度</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid orange; padding: 2px 5px;">66.7%</div> <div style="margin-left: 20px;">20年度 目標</div> <div style="margin-left: 20px;">100%</div> </div>	

平成16年度に導入した即日検査により、受検者数が飛躍的に増加し、平成17年度までの2年間で総受検者数2,087人中11人(陽性率0.37%)のHIV抗体陽性者を発見しました。依然として日本のAIDS患者・HIV感染者は増加を続けており、検査・相談を実施することによって、早期発見し確実に医療に結びつけることや、行動変容につなげています。

経費の概要	<p>17年度 事業実施経費</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; display: inline-block;">9,173千円</div>	<p>経費の説明</p> <p>経費の主なものは人件費ですが、検査相談の内容が多岐に渡るため、関連研修等を受けた常勤職員が事業運営に多く関わっています。また、事業経費の1/2が国からの補助金で賄われています。</p> <p>〔実施にあたっての従事者数〕 ・医師3名 ・保健師4名 ・受付3名 ・検査技師2名 ・看護師2名</p>									
	<p>内訳</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; display: inline-block;">1人あたりの経費は7千円です。</div>										
	<p>【人件費と担当職員数】</p> <table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <td>ア 常勤職員</td> <td>0.6人</td> <td>(0.6人)</td> </tr> <tr> <td>イ 非常勤職員</td> <td>0.0人</td> <td>(0.0人)</td> </tr> <tr> <td>ウ 臨時職員</td> <td>4.0人</td> <td>(3.0人)</td> </tr> </table>	ア 常勤職員	0.6人	(0.6人)	イ 非常勤職員	0.0人	(0.0人)	ウ 臨時職員	4.0人	(3.0人)	
ア 常勤職員	0.6人	(0.6人)									
イ 非常勤職員	0.0人	(0.0人)									
ウ 臨時職員	4.0人	(3.0人)									
	<p>5,732千円</p>										

その他	<p>《実施の根拠となる法令等》</p> <p>「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」「性感染症に関する特定感染症予防指針(厚生省告示)」「後天性免疫不全症候群に関する特定感染症予防指針(平成十八年三月二日付 厚生労働省告示第八十九号)」</p> <p>《民間委託やボランティアなどとの協働の状況》</p> <p>《その他》</p> <p>性感染症は誰もが感染する可能性がある感染症であり、大きな健康問題の1つです。また母子感染による次世代への影響、感染実態を把握することが困難な現状、個人情報保護への配慮などの特徴を有することから特別な配慮が必要とされています。これらを踏まえ性感染症対策を公衆衛生対策上、今後とも推進していく必要があります。</p>
-----	---

平成18年度 江戸川区「行政評価」内部評価シート

整理番号	27	事業名	HIV検査・相談
------	----	-----	----------

所属名	健康部 保健予防課 感染症第一係
-----	------------------

所管課長評価

そう思う ←→ そう思わない

評価項目	評点	5	4	3	2	1	備考
【必要性】							
1	公費を投じて実施すべき事業である。	5					
2	他の事業と整理、統合する可能性がある。					1	
【有効性】							
3	目的を果たすために有効な事業である。	5					
4	成果が上がっている。	5					
【公平性】							
5	対象者や実施回数等は適切である。			3			
6	受益者負担の額は適切である。			3			
【民間活力の活用】 既に実施している場合は備考欄に表記し、評点は「1」とする。							
7	ボランティアやNPOの活用の可能性がある。		4				
8	民間事業者への委託等の可能性がある。					1	
【効率性】							
9	効率的に実施するために、工夫、改善等の可能性がある。		4				
10	経費を削減できる可能性がある。				2		

所管部長の意見等

検診は早期発見の機会であると同時に、一番の啓発の機会でもある。この事業を通じてエイズ、HIVの拡大防止に寄与し、粘り強く啓発活動を続けていきたい。

平成18年度 江戸川区「行政評価」外部評価シート

整理番号	27	事業名	HIV検査・相談
------	----	-----	----------

所属名	健康部 保健予防課 感染症第一係
-----	------------------

外部評価委員評価

そう思う ←→ そう思わない

評価項目	評点	5	4	3	2	1	備考
【必要性】							
1	公費を投じて実施すべき事業である。		4				
2	他の事業と整理、統合する可能性がある。			3			
【有効性】							
3	目的を果たすために有効な事業である。		4				
4	成果が上がっている。		4				
【公平性】							
5	対象者や実施回数等は適切である。			3			
6	受益者負担の額は適切である。			3			
【民間活力の活用】 既に実施している場合は備考欄に表記し、評点は「1」とする。							
7	ボランティアやNPOの活用の可能性がある。			3			
8	民間事業者への委託等の可能性がある。			3			
【効率性】							
9	効率的に実施するために、工夫、改善等の可能性がある。			3			
10	経費を削減できる可能性がある。			3			

外部評価委員の意見

早期発見や予防が大切であるので、健康教育や指導が重要であると思う。
 若い区民の意識が高まるよう指導してほしい。
 受益者負担の額を受検回数で増額するなどしてはどうか。
 事務事業分析シートにおける成果指標の「初回受検者数の割合」という設定がわかりづらい。
 無料で実施する必要があるのか疑問である。
 他の健診項目に初めから入れることはできないか。

評価欄の数字は、各項目の評価点です。